

# ともしび通信

## いいね！イースター！



イースターエッグをさがしてね！

イースター礼拝にお越しください。

イースター礼拝  
4月8日(日)  
I 礼拝 10:30~11:45  
II 礼拝 16:00~17:00

イースターこども野外集会  
4月8日(日)  
朝9:00~9:50  
つくし野セントラルパーク集合  
(雨天時、教会ホール)  
たまごさがし！楽しいゲーム！  
プレゼントもあるよ！

春とともに、教会ではイースター（復活祭）礼拝を迎えます。春の緑はなぜ美しいのでしょうか？それは去年の古い緑が、また生えてくるのではなく、まったく新しいものが創られるからです。イースター礼拝に参加され新しいいのちについて聖書から学んでみませんか。

牧師 松本俊雄

町田バプテスト教会  
町田市つくしの2-31-4 【TEL】042-796-3822

## 集会のご案内

教会の詳細はホームページでもご紹介しています。  
[www.ne.jp/asahi/machida/church/](http://www.ne.jp/asahi/machida/church/)

### 日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減になっている顔と心。天を仰いで生きる元気を取り戻して下さい。

毎日曜

I 礼拝 10:30~11:45  
II 礼拝 16:00~17:00



### 教会学校

幼児から大人まで、クラスに分かれて聖書を学んでいます。どの世代にあっても聖書の学びは生涯の道しるべとなります。

毎日曜 9:00~10:00



### 水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに神を礼拝し、メッセージに耳を傾けます。講解説教で順番に学んでいるので聖書を深く知りたい方に最適です。

毎水曜 19:30~21:00



### 壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集会や教会カフェ、日帰り温泉などサークル的な活動もあります。

毎月第2日曜  
13:30~15:00



### 婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えている課題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜  
13:30~15:00



### 青年会

大学生から社会人まで、月1回、ともに集まり賛美をし、語り、励まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜  
13:30~15:00



### 子育てサークル・ハンナの会

ハンナの会は子育てに疲れたり、悩んでいるお母さんに元気を与える会です。お子さまはお預かりしますのでゆっくりお話しができます。体験してみませんか。

毎月第3火曜  
10:30~13:00 昼食付



### トールペイントサークル

賛美とメッセージの心穏やかなひととき。色とりどりの花を描きながら心を解放するひととき。お茶を飲みながら語らうひととき。自然なことばが気持ちいい！

毎月第1水・金曜  
10:00~12:30



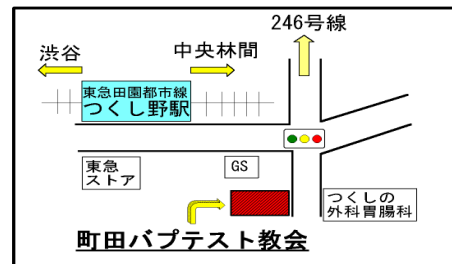
### 木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性たちがありのままの自分でいられる場所。聖書から希望をあたえられ、はげましあい、明日への指針を手にする、あなたの時間です。

毎週木曜 10:30~12:00  
第2木曜は婦人礼拝



- どの集会も参加自由です。気軽にお越しください。
- 質問や相談ごとはどんなことでもお尋ねください。
- 送迎の必要な方は、ご遠慮なくお申し出ください。
- 町田市つくし野2-31-4
- TEL&FAX 042-796-3822

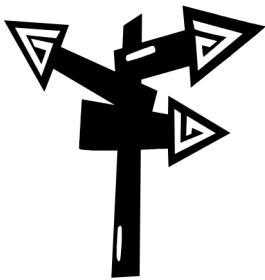


### 編集後記

「ともしび通信68号」をお届けします。イースターエッグはよくご存じですね。それでは「イースターうさぎ」はいかがでしょう。ある年のこと、森の中に彩色した卵を隠して子ども達に探させました。ちょうど飛び出したうさぎの場所に卵があり、こどもたちはうさぎがイースター卵を産んだと大喜び、その伝承が伝わったということです。(徳島昭)

## 人は死に方は選べないが、行く先は選べる

牧師を長くさせて頂き、多くの方々の臨終に立ち会わせていただきました。そこで一番感じている事は、「人は自分の死に方を自分で選べない」と言う厳粛な事実です。多くの方々が（自分もその一人ですが）、自分はこの死に方をしたいと言いたいを持っていると思います。しかし、現実には必ずそうならない事が多いようです。どうも神様はいのちについては、人に支配権を与えて下さらなかったのだと深く思います。



これだけ一生懸命に生きてきたのに、人生の最も大事な死に方を選べないとは真に残念な気がします。逆に自分で決められたら、人はどこまでも高慢になってしまふから、これの良いのだとも思います。しかし、聖書は「死に方は選べない」が「死んでいく先」は明確に教えています。イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。ヨハネ11章25〜26節

死に方は選べなくても、復活の永遠の世界が見えた時、どんな死に方をしようが、あまり大きな問題でないような気がします。

## 交通事故を起こしてしまいました

昨年12月27日（火）の午後2時ごろ、つくし野1丁目1番地の交差点で、前の車に追突事故を起こしてしまいました。前の車の運転手さんは、幸い大事にいたりませんでした。一方、教会の車は、損傷が大きく修理不可能と言われ、てしまいました。多くの方々に迷惑や心配をかけ、痛恨の大失敗だと深く悔いています。

それにしても、自分の不注意でこんな大きな事故を起こしてしまいました。信じられませんが、丁度、クリスマスで使った舞台を保育園に返しに行く時、後ろに2台重ねて載せました。

交差点で前の車に並び、信号が変わり進み始めた時、私も進み始めました。その時、後ろの台がずれたような気がして、思わず後ろを見てしまいました。



いつでも安全運転

その時です。前の車が何か（自転車？）を避けようと、急に止まりました。たまりません。私が向きなおった時は、教会の車の前が大破し、ラジエターが壊れ、水蒸気が立ち上っていました。40年前、丁字路で自転車の人をはね、全治一ヶ月の怪我を負わせ、それ以来運転する時は必ずそのことを思い出し、細心の注意を払うことにしていました。いつの間にかそれを忘れていたことを、悔やんでも、悔やみきれない思いがします。保険屋さんとは相談した結果、廃車手続きをしました。事故の取り返しはできません。これを教訓として、強く心に焼き付けて運転しなければならぬと思っております。

## 牧師室より 松本俊雄牧師

### 私的映画批評

「お父さんのバックドロップ」  
二〇〇四年日本作品  
松本勇哉



「子は親の背中を見て育つ」ベタだがこんな言葉にびったりの映画だった。この映画は、タイトル通りプロレス映画だ。大阪の新世界プロレスに所属するプロレスラー・牛之助は、息子・一雄とその祖父の3人暮らし。母親はすでに亡くなっている。

一雄は、病気であった母よりもプロレスを選び、母の死に目にも立ち会わなかった父親のことも、プロレスも心底嫌っている。その牛之助が、一雄の信頼を回復するため決死の覚悟で世界空手チャンピオンに異種格闘技戦を挑むという話。

映画の中盤で牛之助は一雄の心を開こうと、河原でキャッチボールをし「お父さん」を演じようとするが全く効果が無い。ただ、絶対勝ち目がないとわかっていながら、殴られても蹴られても立ち向かう牛之助の「背中」を見た一雄には、何度も見ている父の姿がいつものプロレス興行とは違って見えただよった。相手にわかってもらいたいとき、どうしても話せばわかるって面と向かいたいくなる。ただ、本当に相手がか心を開くのは、腹を割るのではなく背中を見せることかもしれない。そんなことを感じた。

### アジア食べ

一文字屋修

羽田空港の国際線ターミナルが本格的に稼働してから台湾や韓国に行きやすくなった。先方も都市の真ん中にある国内線空港を整備。市内に直行できるのがいい。

朝7時に羽田を発って台北の屋台で昼ご飯を食べ、ショッピングと観光を楽しむ夕食は本格中華を堪能。22時頃には羽田に戻れる。運賃も格安。国内を旅行して、ご馳走を食べるとさほど変わらない。私たちも正月にチエンマイに行ってきた。タイ料理の辛さはあるがバリエーションに富み、地鶏がたいへんおいしかった。それと隠れメニューとして本格イタリアンがおすすめ！

寿司は今や日本を代表する世界的料理になった。理由は、カルフォルニア巻きに代表されるようにその国のSUSHIアレンジを尊重し、本家も文句を言わないからであろう。メロドインジャパンでここまで規制緩和が成功した例はないかもしれない。魚の冷凍技術と輸送網が発達して、生魚の美味しさを発見したようだ。ベトナムで食べるとワサビがてんこ盛り。オモシロイと感じれば話に花が咲く。私たちの教会では日曜日の昼は共に食事をします。お昼の献立でとてもおいしいランチ。牧師が会堂を新築する時に設計士に台所を中心にしてほしいと頼んだという。身を削る忙しい者にとって食卓を囲む豊かさに感謝している。

シリーズ・チャレンジする男達



生涯現役の人生 徳島昭

生涯現役という言葉を耳にします。現役には二通りの意味があり、一つは仕事を続けていくこと、もう一つがいつまでも元気で与えられた人生を歩み続けていくことです。

二つに共通するのは「もう歳だからリタイアするか」という気持ちがないことです。私自身も生涯現役でいたいのでフリーのコピーライターを続け、また毎日ランニング&ウォーキングをすることでアンチエイジングに努めています。

いま私がチャレンジしているのはある出版社からこの春に書店に並ぶ本の編集です。テーマは全世界で8億人以上のユーザーがいる「フェイスブック」についてです。ハッカーから狙われる存在となり編集テーマはリスクの面に焦点をあてています。著者は情報セキュリティの第一人者の方です。あつ時、雑談しているお互いにクリスチャンであることがわかり、心の距離が一気に縮まりました。

生涯現役といえは聖書に記される人物には大勢います。信仰の父とよばれるアブラハムは75歳の時に神から召命を受け、厳しい半生を送り、平安な老年を迎え長寿を全うしたと記されています。見習いたいです。